

横浜市 **X** 横浜市立大学 共同企画

データ活用フォーラム

「医療・健康分野におけるデータ活用」を開催します

生活のいろいろな場面で日々さまざまなデータが生まれ、活用されて、私たちの暮らしや社会も大きく変化してきています。

データが私たちの暮らしにどのように生かされているのかを、身近な医療や健康をテーマにパネルディスカッションを通して考えるフォーラム「医療・健康分野におけるデータ活用」を開催します。

このフォーラムは、横浜市と横浜市立大学との間で締結した「データ活用に関する包括連携協定*」に基づいて開催する初めての共同企画のフォーラムです。ぜひ、取材にお越しく下さい。

日 時	平成31年1月22日（火） 13時30分～16時00分
会 場	横浜市開港記念会館 1号室（横浜市中区本町1丁目6番地）
参 加 者	一般の方、民間企業、NPO法人等（定員100名）
プログラム	<u>講演1「医療とデータサイエンス」</u> 阿部 貴行氏（横浜市立大学データサイエンス学部准教授） <u>講演2「データが拓く医薬品の未来」</u> 東郷 香苗氏（ファイザー株式会社 コーポレートアフェアーズ、ヘルス&バリューアウトカム&エビデンス アナリティクスチーム部長） <u>パネルディスカッション「医療と暮らしを支えるデータ活用」</u> 阿部 貴行氏（横浜市立大学データサイエンス学部准教授） 東郷 香苗氏（ファイザー株式会社 コーポレートアフェアーズ、ヘルス&バリューアウトカム&エビデンス アナリティクスチーム部長） 岩崎 学氏（横浜市立大学データサイエンス学部教授・学部長）

*横浜市と公立大学法人横浜市立大学は、横浜市官民データ活用推進計画の策定及び横浜市立大学データサイエンス学部の開設を機会として、本年5月に「データ活用に関する包括連携協定」を締結しました。本フォーラムは、当該協定に基づき、横浜市のデータ活用に関する普及啓発事業と横浜市立大学のエクステンション講座との共同企画として実現しました。

※ご取材いただける場合、当日会場受付へお越しく下さい。

お問合せ先

【フォーラムについて】	政策局政策課データ活用推進等担当課長	宮崎 郁	Tel 045-671-4087
【包括連携協定について】	横浜市立大学教育推進課長	田澤紫乃	Tel 045-787-2422
【エクステンション講座について】	横浜市立大学企画財務課担当課長	倉本裕義	Tel 045-787-2449

データ活用フォーラム

医療・健康 分野における データ活用

生活のいろいろな場面で日々さまざまなデータが生まれ、活用されて、私たちの暮らしや社会も大きく変化してきています。このフォーラムでは、身近な医療や健康をテーマに、データが私たちの暮らしにどのように生かされているのかについて、パネルディスカッションを通して考えます。

平成31年1月22日(火)

13:30~16:00

横浜市開港記念会館
1号室

(横浜市中区本町1丁目6番地)

定員 100名 / 参加無料

13:40~

講演

医療と データ サイエンス

ビッグデータ解析などデータの活用が期待されている医療の世界と統計学の関係について解説します

阿部 貴行

横浜市立大学
データサイエンス学部准教授

14:20~

講演

データが 拓く 医薬品の 未来

新しい薬の開発や市販された後で、現実社会のデータがどのように活用されるか？実際と将来の可能性を紹介します

東郷 香苗

ファイザー株式会社
コーポレートアフェアーズ、
ヘルス&バリュー アウトカム&エビデンス
アナリティクスチーム部長

15:20~

パネルディスカッション

医療と暮らしを支える データ活用

医療や健康などをテーマに、暮らしの中でデータがどのように活用され、生活に影響しているのか、その展望や課題について、大学と民間企業のそれぞれの立場から議論します

阿部 貴行

横浜市立大学
データサイエンス学部准教授

東郷 香苗

ファイザー株式会社
コーポレートアフェアーズ、
ヘルス&バリュー アウトカム
&エビデンスアナリティクス
チーム 部長

岩崎 学

横浜市立大学
データサイエンス学部教授

問合せ

申込みについて

TEL: 045-787-8930 (横浜市立大学 地域貢献センター)

フォーラムについて

TEL: 045-671-2066 (横浜市 政策局 政策課)

申込みについては
裏面をご確認ください

講演者



阿部 貴行

横浜市立大学
データサイエンス学部准教授

専門は生物統計学。工学博士。
1973年横浜市生まれ。
外資系製薬企業で治験の生物統計家を12年間経験。2010年から8年間、慶應義塾大学医学部で生物統計部門の責任者を務める。多種多様な疾患領域の95本の医学論文の生物統計共著者となる。2018年から横浜市立大学データサイエンス学部准教授。
日本計算機統計学会理事、複数の国内医学学会学術誌の統計編集委員。



東郷 香苗

ファイザー株式会社
コーポレートアフェアーズ、ヘルス&バリューアウトカム&エビデンスアナリティクスチーム部長

理工学博士。
製薬会社の開発部門で統計解析を専門として、がん、アルツハイマー病、女性疾患などの新薬の開発に携わり、臨床試験の計画や臨床試験データの統計解析などを約20年間行う。臨床試験以外で得られる「リアルワールドデータ」を用いて、薬剤や疾患に関わる有益なデータを創出する仕事にも関わり、2018年1月から現職でその分野を専門に扱う。



岩崎 学

横浜市立大学
データサイエンス学部教授

応用統計学会会長。前日本統計学会会長。専門は統計科学。理学博士。
1952年静岡県浜松市に生まれる。東京理科大学大学院修了後、茨城大学、防衛大学校、成蹊大学で統計関係の教育と研究に従事。統計関連諸学会の理事、評議員および内閣府、厚生労働省、総務省、文部科学省、消費者庁などの統計関係の専門委員を歴任。2018年4月横浜市立大学に新設のデータサイエンス学部の初代学部長に就任。

お申込み

12月11日(火) 9:30~ / 先着順

横浜市立大学エクステンション講座ウェブサイト

<https://www.yokohama-cu.ac.jp/ext/>

Eメール: exten@yokohama-cu.ac.jp

TEL: **045-787-8930** (横浜市立大学 地域貢献センター)

*受付状況などの最新情報はホームページ等でご確認ください。

- ◎ Eメールでの申込みについては、翌営業日までに確認の連絡をいたします。連絡がない場合は必ずお問合せください。
- ◎ 申込受付開始前のEメール受信分は無効とします。
- ◎ 受講に際し、障害等を理由に何らかの配慮が必要な方は事前にご相談ください。
- ◎ 受講を取りやめる場合は、お早めにご連絡ください。
- ◎ 託児はありません。
- ◎ 会場に駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

個人情報について

お申込みの際にいただく個人情報は、条例に基づいて適切に取り扱い、講座の運営の目的のみに使用します。また、横浜市立大学から講座開催のご案内をすることがあります。案内を希望しない場合は、上記申込先(横浜市立大学地域貢献センター)までお申し出ください。

会場へのアクセス



- JR 関内駅
南口から徒歩10分
- 地下鉄関内駅
1番出口から徒歩10分
- みなとみらい線日本大通り駅
1番出口から徒歩1分